

## 平成28年度 P T A 活動最終報告

学校名 吉原第一中学校

会長名 石川 裕子

### 平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 PTA だよりの発行（年3回）、三校合同後援会
- ・生活指導部 校区内巡視（年4回）、運動会巡視、地域祭典巡視（吉原祇園祭・富士まつり）
- ・環境整備部 奉仕作業（学年単位で各1回、計年3回）、環境整備協力金を集金
- ・体育保健部 三校ソフトバレー大会、校内ソフトバレー大会、運動会でのPTA 競技の開催  
思春期講座参加
- ・学年学級部 学級別懇談会、コサージュ作り、給食試食会、市P 連母親委員会出席  
制服等のリサイクル配布、文化発表会でのドア係
- ・企画調整部 P T Aにおける各種会議の運営進行  
研修旅行・懇親会の企画・実施

### 取り組みの効果

1. (有)
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

年間10回の総務会を通じ各部の活動・事業の内容確認を行い、総務会役員と先生方との連携をとり PTA 活動を推進し、下記の活動を行った

- ・成人教育部 三校合同講演会では伝法小(28年度当番校)を中心にフリーアナウンサーの國本氏にお越しいただき10月28日開催しました。  
PTA だよりでは、役員と先生方の協力のもと例年より多くの学校行事やPTA 活動についての記事を掲載することができました。
- ・生活指導部 各巡視項目にて多くの方に参加、協力していただきました。  
生徒たちの活動に大きな問題も起こらず、安心、安全に行動するお手伝いが出来たと思う。
- ・環境整備部 奉仕作業では、短時間ではありますが、多くの方に参加・協力していただき、集中して一生懸命美化活動に協力していただきました。
- ・体育保健部 主にソフトバレー大会を通して、教職員、保護者及び生徒の交流を持つことができ、さらなる相互理解が出来ました。
- ・学年学級部 学級別懇談会は現在市内の中学校の中で一中だけが開催しており、思春期の子供を持つ親同士の情報交換や先生と保護者とのコミュニケーションの場となり、とても有効な行事であると思います。  
今年度給食試食会とコサージュづくりに参加してくださる方が多くいらしてコサージュづくりも盛況でした。保護者の方が作ったコサージュをご自分のお子さんに確実に渡すように名前を付けて保管する旨をお便りに記載したことも参加者が増えた要因かと思えます。
- ・企画調整部 各種会議において円滑な進行が出来た。  
PTA 総務会役員・教職員・後援会が懇親を深め連携をとることができ、スムーズな活動につながった。

#### －反省点－

現状の活動を引き継ぐだけではなく、更に活動内容を充実させるよう改善していきたい。

研修旅行については研修先の選定・予算について事前に検討を重ね計画していきたい。  
奉仕活動には、マンパワーが必要ですが、環境整備役員は元々メンバーが少ないうえ、仕事と重なってなかなか率先的な役割を果たせなかった。

#### －改善案－

児童数、世帯数の減少で地区評議員の見直し検討をしていきたい。

よりスムーズな進行が出来る様、部会で検討していきたい。

慣習的な男性で役員を構成していますが、今後は男性に限らず幅広く募っていく努力をしていきたい。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第二中学校

会長名 西川 晃央

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・三校合同ソフトバレーボール大会（三校合同事業）
- ・役員会（組織改正・役員選出方法改正）
- ・給食試食会・献血活動・紙バンド教室・卒業生コサージュ作り
- ・朝の挨拶運動・防犯教室
- ・古紙回収・奉仕作業・救急救命法講習会
- ・P T A新聞発行・情報交換会
- ・運動会準備・運動会P T A種目

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- 給食試食会や紙バンド教室、卒業生コサージュ作りなど、多数の保護者が学校や生徒の様子を直接知る機会となった。さらに、P T A新聞等により、それらの活動を地域に発信することができた。
- 学校行事に対して全面的にバックアップすることで、運動会や文化発表会などを円滑に運営することができた。
- 朝の挨拶運動や校内巡視などは、子どもたちの健全育成につながった。
- 古紙回収等の収益金は、教育活動に生かすための様々な物品を購入することができた。
- ◎活動を通じて、様々な場面で保護者と教師が連携することにより、教育活動に対する保護者の理解が深まり、P T A活動は、学校には欠かせないものだと改めて感じることができた。
- ◎今年度は、地域小中学校のたくさんのP T A同士が三校合同事業を通して交流できたことも今後の大きな財産となった。
- ◎今まではほぼ毎月理事会を開催していたが、機動力の向上及び役員の負担軽減等を図るため、今年度は執行部による役員会と理事会を交互で開催することとした。  
また、今まで副部長以上の役員は一本釣りだったが、理事の輪番制と同様の選出方法を一部取り入れて来年度から選出されることとなった。

－反省点－

活動が活発になるにつれ、役員、教員ともに負担が増えてしまうところがあった。  
上記のとおり役員の選出方法を改正したが、なりて不足の問題は解決しない。

－改善案－

活動の改善、特に削減については、役員、教員とも、なかなか言い出せないものであるが、遠慮なく意見を交換し合い、改善策を見つけ、状況によっては、削減していくことが大切であり、よりよいP T A活動につながっていくと思われる。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第三中学校 会長名 望月 輝久

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

平成27年度と同様の活動を実施

吉原三中特有の長野県豊丘村のリンゴ斡旋販売では、安全を考慮して出入口での車誘導の人員を増やした。

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

事故もなく安全に車を誘導することができた。

—反省点—

—改善案—

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原中学校 会長名 川嶋 喜忠

---

### 平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

各専門部においては特に重点を置く活動を決めずに、例年行っていた行事を行いました。その中で本部役員及び組織改正に着手し10支部に分かれていた地区割りを5支部に減らし、次年度の役員選出を行うこととなりました。

### 取り組みの効果

1. ⑦
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

各専門部は年間の活動計画通りに行事をスムーズに行うことができました。P T A組織改正は今後生徒数の減少も確実なため10支部を5支部に縮小し、地区役員、並びに本部役員の選出がスムーズに行えるように改正しました。

29年度の役員選出は何のトラブルもなく決定しました。

#### －反省点－

#### －改善案－

P T A組織改正は初めてのことなので今後どのようなようになっていくか手探り状態です。支部の減少により役員の数も減少するので、今まで通りの行事及び活動もそれに合わせて縮小せざるを得ないと思います。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原東中学校 会長名 小松崎 修

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 各専門部の活動
- 2 H28年度P T Aの集いの発表の為に資料集め・発表
- 3 P T A活動における役割分担
- 4 地域との連携

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)  
—具体的な効果—

- 1 各専門部において円滑な活動が行われた。
- 2 学校側にも積極的にP T A活動の協力をして頂き先生方ともコミュニケーションがとれた。
- 3 各部で役割分担を行い、人数が足りない所は保護者の協力があり、相互扶助が出来た。
- 4 地域行事の協力を行った。
- 5 P T Aの集いの発表では各専門部で資料集め等が積極的に行われた。

—反省点—

- 1 地域行事の協力において、負担の大きい専門部があった。
- 2 古紙回収や清掃活動は男性保護者の参加を呼び掛ける。

—改善案—

- 1 生徒数減少に伴い各専門部の定数の見直しが必要。
- 2 母子、父子家庭の保護者の参加しやすい環境づくり。
- 3 地域行事の協力は、各支部長にも協力をお願いする。
- 4 小規模校なので保護者と学校とのコミュニケーションを密にとりお互いが楽しくやりがいのある活動が出来るようなP T Aづくりを心掛ける。

# 平成28年度 P T A 活動最終報告

学校名：富士市立須津中学校

会長名：相原健一

---

## 1. 平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

昨年度に引き続き、できるだけ多くの方に P T A 活動に参加・興味を持って頂けるような取り組みを行った。

### ①「アロマテラピー教室」

26年度は「食育モデル地区」に須津地区が指定され、「P T A 母親委員会」が主催して「親子須津弁当づくり」を開催した。27年度は「愛鷹亭」の田嶋さんを講師に、「須津中ピロシキ」をベースに簡単にできる成長期の子供達にあった栄養バランスの取れたピロシキを親子で作る試みを行った。

本年度は、いまいづみ幼稚園アロマクラブ講師、アロマテラピーアドバイザーの川島さんを講師に家庭でもできるアロマテラピーについての講座を開設し、30名近くも参加する盛大な講座となった。

### ②「通学路交通安全マップ」

昨今より、国土交通省より「通学路の安全確保の取り組み」が行われており、本校では行われていないことから、本年度初の試みとして、保護者にアンケートを取り、通学路安全マップを作成した。アンケート回答率は、全校生徒371名中、219名の回答があった。更に、通学路に危険箇所があると回答のあった方は、219名中、63名であった。3割の方が、通学路に対して、危険箇所があると認識している結果となった。そしてアンケートを基に通学路安全マップを P T A 本部役員が作成し、全家庭に配布し、地域にも回覧板で周知した。

更に、今後の取り組みとして

- 危険箇所を家庭で具体的に確認すること。
- リフレクターや目立つ色の服で視認性をアップすること。
- 注意すべき場所があった時には、P T A の生活指導部や学校の先生に知らせて頂くこと。

などの提案を行った。

## 2. 取り組みの効果 有 無

－具体的な効果－

「学校評価アンケート」より「教育活動に関心があるか？」の問いにたいして、「①あてはまる」、「②ややあてはまる」、「③あまり当てはまらない」、「④あてはまらない」、「⑤無回答」の5項目回答があった。

平成27年度結果は、以下の通りである。

【平成27年度結果】

項目	① 人	② 人	③ 人	④ 人	⑤ 人	計 人	項目	① %	② %	③ %	④ %	⑤ %	計 %
1年生	33	54	13	0	0	100	1年生	33	54	13	0	0	100
2年生	28	92	15	1	0	136	2年生	21	68	11	1	0	100
3年生	36	78	4	0	0	118	3年生	31	66	3	0	0	100
合計	97	224	32	1	0	354	合計	27	63	9	0	0	100

【平成28年度結果】

項目	① 人	② 人	③ 人	④ 人	⑤ 人	計 人	項目	① %	② %	③ %	④ %	⑤ %	計 %
1年生	19	64	7	1	1	92	1年生	20	70	8	1	1	100
2年生	16	68	13	0	2	99	2年生	16	69	13	0	2	100
3年生	27	101	4	0	2	134	3年生	20	75	3	0	2	100
合計	62	233	24	1	5	325	合計	19	72	7	0	2	100

「教育活動に関心がある」に対する答えは、27年度はやや減少傾向であったが、本年度は「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が昨年度と同様であった。

6月に行われた生活指導部主催の「学年懇談会」は生活指導部の役員以外の一般参加者は平年並みであったが、家庭教育委員会の「アロマ教室」「卒業式コサージュづくり」などは昨年度よりも多くの保護者が参加し、奉仕作業も時間内に順調に行われた。

また、4年間継続している「ソフトバレーボール」は内容も浸透し、白熱した試合が繰り広げられ、先生方と保護者の良い交流の場となるなど、良い点も多くみられた。

－反省点－

少子化に伴うPTA活動及び役員定員の軽減は、平成27年度末に浮島地区の要望により、役員定数の軽減は行った。

しかし、実態としてある地区では小中学校の役員を兼任している方や、毎年役員をやらなければ定員割れしてしまう支部もあり、現状に則したPTA活動を行うことが必要と考える。

－改善案－

今後、以下の内容を改善し、より良いPTA活動を行いたい。

- ・各支部に役員選任の仕方・定員の状況を確認する。
- ・各支部より、PTA活動に対する意見を求める。
- ・各部会での活動内容及び定員軽減の意見を求める。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長名 小野金哉

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 PTA新聞の発行  
保護者への教育講演会の実施（氏）
- ・生活指導部 校内・地区巡視および夜間の巡回とパトロール  
臨時パトロールを10月と11月に行い強化。
- ・環境整備部 古紙とペットボトルの回収事業  
校内の草取りとの美化活動を実施
- ・体育保健部 PTAと教職員の親睦球技大会の開催  
親子普通救急救命講習会の開催
- ・家庭教育委員会 朝の登校時における挨拶運動の実施  
マドレーヌと古着の販売と卒業生へのコサージュ作り

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

各専門部のPTA事業を通し、PTA会員が同士が団結を深めることができている。また、地域の各種団体共々、上手に連携を取りながら、生徒たちの見守りができている。

—反省点—

PTA事業への参加者は増えてきているが、体育保健部の親子普通救急救命講習会では、PTA役員や理事の参加が中心になってしまい、参加数も少なかったため中止になってしまった。今後とも大事な内容の講習会なので、これまで以上に、他の保護者に呼びかけをしていきたいと思う。

—改善案—

- ・各PTA事業の後に反省会を開き、参加人数・参加者の分析を行い、各事業の一般会員の参加者を増やす。
- ・まちComiメールを用いて、各事業の様子を会員の皆様に報告し、さらなる理解と協力をお願いする。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士中学校 会長名 奥山 祐子

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

・昨年度と同様に、三校合同事業は行わなかった。校内で行う教育講演会では、メンタルトレーニングコーチ望月康宏さんにおいでいただいた。毎年無料で講演を行っていたが、今年度は部の経費の出して行った。

取り組みの効果

1. ① 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

・メンタルトレーニングの話から、モチベーションを高める話、夢や目標を毎日意識させることが大事であるという話など、保護者や先生方とともに役立つ話を聞くことができた。

—反省点—

・今年度、経費を使って行う講演会は初めての取り組みであったため、場所・人数などから参加できたのは役員と先生方であった。内容も素晴らしかったため、全校の保護者に呼び掛けたかった。

—改善案—

・4月には教育講演会をしてくださる講師を決め、早めに保護者に伝え、希望者の出席を取り、参加できる方を増やすことができればよいと考える。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦中

会長名 村瀬 肇

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ◎ 1、ソフトバレーボールでの怪我防止
- ◎ 2、古紙回収 収量収益の改善

取り組みの効果

1.  有      2.  無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

### 1、P T A親睦ソフトバレーボールでの怪我の再発防止

ここ近年ソフトバレーボールにおいて怪我が発生している。そのため、競技開始前の準体操の徹底、怪我の起こりにくいルールづくりなどを行った。これらの対策により、本年度は怪我人を出すことなく無事終了することができた。

### 2、故紙回収の収量・収益の改善

故紙回収は近年収量・収益ともに減少傾向にあった。本年度の取り組みとして、総会や理事会、環境整備部会において故紙回収に故紙を出していただくよう繰り返しお願いした。結果本年度は昨年度並みの収益を上げることができた。

－反省点－

### 1、ルールを見直し、誰もが簡単に取り組めるようにしたが、一部の人にとっては物足りなさを感じたのではないだろうか。また、年々地区によっては人数が集まらず、大変な思いをされている地区もある。どうしても人数が不足する地区は、バレー部の生徒を借りて行ったが、来年もそのような形をとらざるを得ない地区が出るかもしれない。

### 2、古紙回収の課題は会員数が多いものの収量が少ない地区の収量改善である。特徴として母親の役員のみでの活動になっていることがあげられる。母親だけでの回収には限界があり父親の参加が望まれる。他地区のように故紙回収は父親の仕事という空気を作っていくたい。また近年オートマ限定免許者が増えトラックの運転車が確保できない、トラックが確保できない、確保できてもトラックの運転に不安があるという声が聞こえる。

この点については各区の区長に協力をいただきトラックの提供や運転を区の皆さんにご協力をお願いし、故紙回収は田子浦地区のためのもの地区をあげての活動という意識の転換を図りたい。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松中学校 会長名 志田好久

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

携帯電話・スマートフォン・ゲーム機等の適切な利用について

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

PTA 総会や校内 PTA 理事会等で校長先生、会長より本年度の市 P 連での適切な利用方法や、使用時間（富士市ルール）の徹底についての話をしていただきました、校内理事会においては毎回話をしました。

学校と子供を通じての L I N E 等によるいじめの報告はなかった。

－反省点－

－改善案－

五団体事業（地域が育てる岩松の子供たちの会）等では、講師を招いてスマホ・ケータイ安全教室を開催しましたが、大人が対象のため、子供たちには聞いてもらえなかった。「ケータイ・スマホルール」アドバイザーが当地域にはいるので、ぜひ生徒たちに講演をしていただきたいと思います。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南中学校

会長名 小山 弘史

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

・生徒、保護者、地域にとってより良い学校環境づくり

(1) 成人教育

P T A新聞の発行。三校合同事業として「みのりの秋！食育文化祭」に参加。

(2) 体育保健

ソフトバレーボール大会。

(3) 環境整備

古紙回収（学校で集積・業者に搬入）。親子奉仕作業（校地内清掃・樹木選定）。

(4) 生活指導

学年懇談会。夏休み及び甲子祭における巡視。登校時のあいさつ運動。

(5) 母親委員

給食試食会。バザーを開催して、制服等リサイクル・日用品バザー。卒業生用のコサージュラッピング。

(6) 各部共通の取り組み

運動会において、会場巡視・P T A種目参加等。校内巡視。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・今年度、例年行っていた地区懇談会を、学校を会場として学年単位で行う「学年懇談会」に変更して実施した。同じ学年ということもあり、共通の話題で情報交換を多くすることができた。
- ・市の食育推進事業の一環で年間を通して実践してきた内容を、富士第二小の食育イベントで発表し、多くの生徒も当日参加できた。市の事業とP T A活動が連携することで、食に対する意識を高めることができた。

—反省点—

- ・古紙回収の日程が小学校と近く、回収量が少なかった。
- ・親子奉仕作業の日が、地区の防災訓練と重なる地区が多く参加者が少なかった。

—改善案—

- ・古紙回収の日を、小学校の回収日から1か月程度前後するように日程調整する。
- ・奉仕作業の日を、地区の防災訓練がない土曜日の午前中に実施する。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 鷹岡中学校 会長名 豊田 愛

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① あいさつ運動（毎週水曜日登校時）
- ② 高校見学会（富士宮北高校・富士見高校・星稜高校）
- ③ 天文教室（月一回開催）

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 毎週のあいさつ運動を重ねていくことにより、ことらからのあいさつより先に生徒の方から「おはようございます」と声を掛けてくれる事が増えた。
- ・ 高校見学会で、P T A会員が自分の目で高校を見ることが出来た。普段の授業風景や環境を見ることが出来た。

—反省点—

- ・ あいさつ運動は後半戦になると役員の参加者が減ってしまうという事が本年も見られた。前日の確認などを徹底したい。
- ・ 天文教室は悪天候、インフルエンザ等により、年3回しか開催できなかった。生徒の参加も少ない回もあり、もっと広く参加者を集められればと思う。

—改善案—

- ・ 天文教室の一般の参加をもっと増やしていく。  
富士ニュースや広報ふじなどへの情報発信ができればと思います。

## 平成 28 年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校 会長名 江村 輝彦

### 平成 28 年度重点活動の具体的な取組内容

- |        |   |
|--------|---|
| 成人教育部  | ・ P T A 新聞「陽だまり」年 3 回発行<br>・ 地区文化祭壁新聞づくり                                    |
| 環境整備部  | ・ 奉仕作業、古紙回収、アルミ缶回収の実施<br>・ バザーの実施   |
| 体育保健部  | ・ 親子ファミリーバドミントン（練習会と大会の運営）<br>・ 体育大会 P T A 種目「綱引き」参加、駐車場係<br>・ 親子 A E D 講習会 |
| 生活指導部  | ・ ハイタッチあいさつ運動 年 2 回実施<br>・ 下校時の見守り活動<br>・ 県下一斉補導 年 2 回実施<br>・ 広見夏まつり巡視活動    |
| 家庭教育委員 | ・ 「感謝の気持ち」プレゼント作り<br>・ 卒業生用コサージュづくり   |

### 取組の効果

1.  有      2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### — 具体的な効果 —

- ・ 各行事への参加を通して、保護者のネットワークが広がったり、深まったりした。
- ・ 学校と P T A または地域との連携が増え、学校の教育活動に対する保護者や地域の理解が深まった。
- ・ 親子で参加する活動を通して、家族間のコミュニケーションを図ることができ親子の会話が増えた。

#### — 反省点 —

- ・ さらに、活動内容を充実させていくために、来年度の活動計画を見直し、力の入れどころを明確にしていく。

#### — 改善案 —

- ・ 大規模校ならではの強みを生かして、人材を生かしながら古紙回収やアルミ缶回収、バザーなどを充実させる。

## 平成28年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立吉原北中学校 会長名 宇野 篤哉

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①毎月15日を基準に、夜間の地域巡回運動を実施した。生活指導部員に加え、P T A三役も一緒になって参加した。
- ②9月20日に行われた運動会では、体育保健部が中心となって駐車場への誘導を行った。
- ③年3回の古紙回収活動を計画し、地域への依頼をおこなった。

取り組みの効果

- ① - 有                      ② - 有                      ③ - 有

—具体的な効果—

- ①地域巡回運動とし夜19:30より毎月1回地域のコンビニ、商業施設を中心にパトロールを行った。P T A役員の方たちも、夜間中学生が出歩いている現状をみて安心していた。来年度以降も継続をしていく。
- ②昨年度の反省として引き継いだ、学校以外の駐車場の確保と校内の駐車スペースでの生徒の安全確保に意識して取り組むことができた。体育保健部の多くのお父さん方が早朝から参加し誘導を行ってくれたため、事故やトラブルなく円滑に実施できた。

—反省点—

- ② 毎回、地域へ事前に周知し協力をお願いしているが、回収してから出す家庭もあったためか、回収できなかった古紙も出て、連絡が入ったことがあった。

—改善点—

- ③ 回収する時間、場所を確実に周知しておく。また、地域の方の中には、古紙回収のために古紙を自宅に貯めておいてくれる方もいるため、雨天で中止になった場合は、電話連絡をしてもらい直接回収に伺うことを回覧板で周知しておく。長期的には、一定期間に古紙回収ボックスを設置することについても検討をしていきたい。

## 平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一中学校

会長名 住吉博幸

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

【本部】 ・本部、学校間の連携強化（学校行事への積極的な協力、高校説明会の開催 等）

【生活指導部】 ・春、秋季交通安全・あいさつ運動 ・下校時安全指導

【環境整備部】 ・廃品回収（2回） ・愛校作業（学校敷地内の除草作業）

【成人教育部】 ・機関紙「ゆうかり（2回）」「ゆうかり瓦版（1回）」の発行

【体育保健部】 ・ニュースポーツ教室の開催（キンボール） ・思春講座

【家庭教育員会】 ・バザー開催 ・コサージュづくり

取り組みの効果

1.  有 2.  無（なぜ効果が出なかったのかを「反省点」に記入）

－具体的な効果－

・高校説明会では、3年生の生徒、保護者だけでなく1、2年生も参加があり有意義な説明会となった。（113名が参加）

・あいさつ運動では、正門にてP T A役員、専門部の部員と先生方がハイタッチをして生徒を迎え親交が深められた。

・愛校作業では、例年より草木が多く、また熱い中での作業であったが、先生、生徒、保護者が一体となって汗をかき、学校とのふれあいや親子とのふれあいも深められた。

－反省点－

・あいさつ運動の立哨場所について、生徒の通り道や通過時間等に合わせて見直しすべきとの意見が出され改善をした。

・ニュースポーツ教室では生徒や体育保健部の部員の参加が少なかった。

・下校時安全指導では、校舎の一部解体工事に伴い解散場所の変更や、降雨により予定していた時間よりも下校時間が早まったことから、保護者が指定場所に到着する前に生徒が通過してしまい巡回指導できなかった。

－改善案－

・ニュースポーツ教室は参加者の募集はプリント等活用する等募集を見直す。部員の方には開催前日等に再度確認の連絡をする等の連絡方法を改善する。

・専門部の各種活動について説明が口頭であったため、連絡や説明不足となった。来年度は配布資料を活用する等の改善をする。

以 上

## 平成28年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士川第二中学校

会長名 宇佐美貴司

---

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・各専門部の活動内容の充実
- ・「二中フェスタ」をP T A活動の柱として、より定着させるための活動内容の精選。

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

・各専門部の活動内容をより充実させるために、専門部長を中心に専門部独自の活動をより優先した。給食試食会やP T A新聞など、例年行っている活動でも、その内容を新しくしたり、昨年とはひと味違う工夫を取り入れたりするなど、それぞれの活動を広げることができた。

・例年行っている、8月の親子奉仕活動終了後の二中フェスタを、今年度は、本部役員が中心として行うだけではなく、各専門部で行う担当部分などは、各専門部に任せる部分を増やした。それにより、それぞれの活動がより充実し、盛況であった。

－反省点－

- ・リサイクル活動は、年明けだったことと、市の回収日と重なったり、古紙の回収ステーションもあつたりして、搬入者が少なく、親子での活動にもなっておらず、回収量が少なく、成果が薄かった。
- ・学校公開日のアンケート回収率が大変低く、アンケートの置き場や回収方法を再考する必要がある。

－改善案－

- ・親子奉仕作業は、校舎外だけでなく校舎内もやれると良い。
- ・リサイクル活動は、回収方法を変えて、小中合同で、年2回行う。